

2025年2月7日

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
三菱 UFJ 信託銀行株式会社

オンサイト PPA 事業推進に関する基本合意契約の締結について

株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（代表取締役社長 ^{あきた ともかず} 秋田 智一、以下「アイ・グリッド」）と三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 ^{ながしま いわお} 長島 巖、以下「三菱 UFJ 信託銀行」）は、オンサイト PPA^{※1} 事業を推進するための基本合意契約を締結いたしました。初期事業規模 50 億円を目途に協業をスタートし、分散型オンサイト PPA 事業のさらなる拡大をめざして、両社協力のもと迅速に開発を進めてまいります。

■取組の概要

アイ・グリッドは、流通小売、物流等の企業を中心に、初期費用ゼロで施設屋根上に太陽光発電所を導入するオンサイト PPA 事業をいち早く展開し、PPA モデル国内 No.1^{※2}（累計開発実績 1,113 施設・発電容量 275MW/25 年 1 月末現在）の実績を有し、地域の脱炭素化実現に向けて業界をけん引してまいりました。また、太陽光パネルの設置面積を最大化しつつ、再エネ電力の自家消費比率を大幅に向上させる「余剰電力循環スキーム」をはじめとする、デジタルテクノロジーを活用した独自の GX ソリューションや技術・ノウハウを蓄積し、導入企業とともに脱炭素社会化を推進しています。

一方、三菱 UFJ 信託銀行は、『安心・豊かな社会』を創り出す信託銀行をめざす姿として様々な社会課題解決に向けた取り組みを進めており、脱炭素社会の実現という社会課題に対しては、太陽光（営農型太陽光を含む）のほか、風力、水力などの再エネ発電所に出資し、地域に根差した再エネ発電所等の開発・安全な運営から、お客さまの投資ニーズに多角的にお応えする再エネファンド組成・運用までの全工程に関わることをめざしています。

今回の両社の取り組みは、アイ・グリッドの企業・自治体等とのパートナーシップを通じて各地域の脱炭素化を具体的に推進する「ソーラーアライアンス事業^{※3}」の一環となります。アイ・グリッドの PPA 開発力と、三菱 UFJ 信託銀行のファイナンス力を組み合わせることで、より迅速かつ大規模に分散型発電所の開発を推進し、蓄電池や EV などを組み合わせた GX ソリューションによる、エネルギーの自立自走した街づくり（GX City）の実現をめざしてまいります。

（各社の役割）

社名	役割
株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ	・オンサイト PPA 事業のアレンジメント・運用 ・太陽光発電システムの開発・保守
三菱 UFJ 信託銀行株式会社	・オンサイト PPA 事業のストラクチャー構築 ・ファイナンス提供

今後両社は、アイ・グリッドの PPA モデル国内 No.1 の実績と三菱 UFJ 信託銀行の総合的な金融サービス・高度な運用ノウハウを組み合わせ、この推進により再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）電力の地産地消を実現するとともに、企業・地域の課題である再エネ自給率向上への取り組みに貢献してまいります。

- ※1 オンサイト PPA とは、発電事業者（PPA 事業者）が需要家の敷地内に発電設備を設置して、電気を提供する仕組み
- ※2 富士経済 2024 年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望／ 第三者所有モデル（PPA モデル、リース）・非住宅（10kW 以上）・2023 年度実績
- ※3 2023 年 2 月 10 日発表プレスリリース 「ソーラーアライアンス事業開始のお知らせ」参照
https://www.igrid.co.jp/2023/02/10/release20230210_2/

以 上